

2024(令和6)年7月12日 報道発表資料
[本リリース発信元] ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)



©井上亨典事務所 井上嘉和

classic × jazz 2024.12.21(土)
ロームシアター京都 メインホール
大西順子 meets 京都市交響楽団

プログラム ジョージ・ガーシュウィン「ラブソディ・イン・ブルー」ほか

ジャズとクラシックが邂逅する特別なひととき

クラシック × ジャズ

大西順子 meets 京都市交響楽団

指揮：角田鋼亮

出演者：大西順子（ピアノ）、井上陽介（ベース）、吉良創太（ドラムス）、
京都市交響楽団（管弦楽）

2024年12月21日（土）15時開演

ロームシアター京都 メインホール

[本リリースに関するお問合せ先]

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当：儀三武、寺田、加藤陸
電話：075-771-6051(9:00~17:00) FAX:075-746-3366 E-mail:press@rohmtheatrekkyoto.jp

■企画趣旨

ロームシアター京都は京都市交響楽団の第2のフランチャイズホールとしてこれまで、演出家で俳優の白井晃、映像作家で演出家の石橋義正、小説家の藤野可織など**異分野のアーティストやクリエイターとのコラボレーション**により**京都市交響楽団の新たな魅力を発信する公演**を多数贈り届けてきました。

今回の企画では、**世界各国で活躍する大西順子と京都市交響楽団が、「ジャズ×クラシック」の夢の共演**を果たします。ヨーロッパのクラシック音楽とアメリカのジャズを融合させたシンフォニック・ジャズとして高く評価されたジョージ・ガーシュウィン「ラプソディ・イン・ブルー」をはじめとする名曲の数々を演奏します。**年末のホリデーシーズンにお届けする、ジャズの女王 大西順子と京都市交響楽団の奏でる特別なひとときを、どうぞお楽しみください。**



Photo by Kenta Yamaji

左：京都市交響楽団×藤野可織 オーケストラストーリーコンサート「ねむらないひめたち」(2021年)

右：京都市交響楽団×石橋義正 パフォーマティブコンサート「火の鳥」(2021年)

■本企画のポイント

世界的に活躍するジャズの女王 大西順子と京響クラシックの融合

故・小澤征爾氏から熱烈な支持を受けた、世界的なピアニストである大西順子。近年ではジャズ好きで知られる世界的作家 村上春樹の音楽イベント「MURAKAMI JAM」の音楽監督も務めています。強靱なピアニズムで世界の人々を魅了する大西順子と、精鋭たちの集まる京都市交響楽団の夢のコラボレーションの場にぜひお立ちあいください。

クラシック×ジャズの申し子ジョージ・ガーシュウィンの代名詞を演奏

第二部では、ジョージ・ガーシュウィンの「ラプソディ・イン・ブルー」を京都市交響楽団×大西順子トリオで演奏します。20世紀アメリカの最も偉大な作曲家であるガーシュウィンは、様々なアメリカ音楽の手法を用いてこの曲を作曲し、見事にクラシックとジャズを融合させました。シンフォニック・ジャズと呼ばれる新しい領域を開拓した記念碑的な作品であり、今日においてはガーシュウィンの代名詞として広く知られています。

■プロフィール



角田 鋼亮／Kosuke TSUNODA

東京芸術大学大学院指揮科修士課程並びにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2008年、カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクール第2位入賞。ベルリン・コンツェルトハウス管、ブランデンブルグ響、上海歌劇院管、N響、読響、都響、東響、東京フィル、名古屋フィル、京響、大阪フィル、九響等と共演している。2015年よりセントラル愛知交響楽団の指揮者を務め、2019年より常任指揮者に就任。2016-2020年 大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者、2018-2022年 仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者を歴任するなど、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として各地にて活躍の場を拡げている。2024年4月より、セントラル愛知交響楽団音楽監督を務めている。



大西 順子／Junko ONISHI

1989年バークリー音楽大学卒業後、ニューヨークを中心にプロ活動を開始。1993年、アルバム『WOW』でデビュー。1994年、2ndアルバム『クルージン』が米国ブルーノートより発売。同年 NYの名門ジャズ・クラブ“ビレッジ・バンガード”で日本人初のリーダーライブを実施するなど輝かしいキャリアを築き、シーンを牽引。小澤征爾氏の熱烈な誘いを受け、2013年「サイトウ・キネン・フェスティバル松本」に初登場し、大西順子トリオとの『ラプソディインブルー』は永きにわたり語り草に。近年はトリオ、カルテット、セクステットと様々な編成で作品をリリース。また、作家・村上春樹の音楽イベント「MURAKAMI JAM」でも音楽監督を務める。

京都市交響楽団／City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年に創立し、日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つオーケストラ。2015年「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月ヨーロッパ公演で成功を収め、2017年「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞等受賞。2020年4月第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッドが就任。2008年4月から2022年3月まで14年間にわたり常任指揮者を務めた広上淳一のもとでは、数々の名演を生み出して黄金時代を築き上げた。2023年4月からは第14代常任指揮者に沖澤のどかの就任が決定し、京響は今、新たなステージへ向けて、名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

■公演情報

公演名：クラシック×ジャズ 大西順子 meets 京都市交響楽団

日時：2024年12月21日(土) 15:00 開演(14:00 開場)

会場：ロームシアター京都 メインホール

指揮：角田鋼亮

出演者：大西順子(ピアノ)、井上陽介(ベース)、吉良創太(ドラムス)、
京都市交響楽団(管弦楽)

曲目：第一部：大西順子トリオ

第二部：ジョージ・ガーシュウィン「キューバ序曲」(京都市交響楽団)、
「ラプソディ・イン・ブルー」(京都市交響楽団×大西順子トリオ)

主催：京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

協力：BLUE NOTE JAPAN

助成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

■チケット情報

全席指定 |

S席 8,000円、A席 6,000円、B席 4,000円、C席 3,000円、ユース(25歳以下、S席) 4,000円

※未就学児入場不可

※ユース(25歳以下)および18歳以下チケットは、公演当日に受付にて年齢が確認できる証明書
(学生証、免許証等)をご提示ください。

※託児サービスあり。詳細・お申込みはロームシアター京都 WEB サイトをご覧ください。

チケット発売日：

2024年7月13日(土) 一般発売 / 7月6日(土) 会員先行発売

※フレンズ会員(オンライン会員)、Club会員(京都コンサートホール・ロームシアター京都共通の会員制度)・
京響友の会会員

チケット取扱：

■オンラインチケット 24時間購入可 ※要事前登録(無料)

<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>

■ロームシアター京都 チケットカウンター

TEL.075-746-3201 (窓口・電話とも 10:00~19:00/年中無休 ※臨時休館日を除く)

■京都コンサートホール チケットカウンター

TEL.075-711-3231 (窓口・電話とも 10:00~17:00/第1・3月曜日休館 ※休日の場合は翌日)

■チケットぴあ <https://t.pia.jp/> 《Pコード：272-275》

■イープラス <https://eplus.jp/>

お問合せ先：

ロームシアター京都チケットカウンター TEL.075-746-3201

公演詳細 WEB ページは [こちら](#)